

# きたひろしま 議会だより



## 主な内容

補正予算の概要	2	視察報告	5
委員会報告	3	一般質問「町政をただす」	6～11
議案審議の結果	4	キラリ人	12
意見書	5	表紙の説明 あとがき	12

vol.  
**69**  
2022.8.1

# 令和4年第2回定例会

## 3億6850万円の

### 一般会計補正予算を審議・可決

6月補正予算は、コロナ禍における感染予防対策、事業者支援事業のほか、新たに緊急性かつ必要性が認められる事業実施のための3億6850万円が提案され、審議を行いました。その主要施策等の概要はつぎのとおりです。

#### I 活力ある産業の

#### 創造と成長

2175万円

▼全日本お米グランプリin北広島町実行委員会運営補助金 200万円

・今年12月3日に開催予定。開催に向けて町内外へのPR活動に取り組むもの。

▼スマートテロワール推進事業補助金 400万円減

・申請が採択されなかったため、減額。

▼新規就農総合対策事業 375万円

・野菜保冷庫導入に対する補助。

▼地域経済活性化キャッシュレス推進事業委託料 2000万円

・事業者支援として町内の対象店舗等で電子決済（ペイペイ）を利用しての支払いに、決済額に応じてポイント還元をする。10月以降の実施を予定。

#### II にぎわいと活気に満ちた

#### まちづくり

5559万円

▼まちづくり会社創業支援補助金 285万円

・創業のためのシステム導入費用ほか。

▼低所得の子育て世帯臨時特別給付金等 2550万円

・対象児童一人当たり5万円を支給するもの。

▼放課後児童クラブ運営事業 338万円

・トイレ改修工事請負費。

▼体験施設利用支援事業助成金 890万円

・体験施設利用料金の半額助成。7月下旬から1月までを想定。

▼学校給食事業 1050万円

・新しい学校施設用地への進入路整備のための設計委託と用地購入費。

### 安心して元気に暮らせる

#### 地域の創出

1388万円

▼予防接種事業 191万円

・新型コロナウイルス予防接種事業費。

▼感染症予防対策事業 1100万円

・PCR検査システム導入補助金ほか。

#### IV 生活基盤の強化・強靱化

170万円

▼カーボンニュートラル推進計画策定事業 170万円

〈解説〉カーボンニュートラルの取組を推進するため、県北自治体では初となるゼロカーボンシティ（タウン）の宣言を行い、年度内を目的に住民、事業者、行政等が一丸となって脱炭素に取り組むための計画を策定するもの。

#### V 住民のための行財政運営

2億5610万円

▼地域振興基金積立金 1億4000万円

▼過疎地域持続的発展基金積立金 1億1290万円

## 令和4年第2回臨時会

### 米販売農家の次期作を支援

### 令和4年度4月補正予算

## 7250万円

令和4年4月12日に第2回臨時会が開会されました。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、米価下落の影響を受けた米販売農家の令和4年産作付けを支援するため、一般会計補正予算7250万円が提案され、審議を行いました。概要はつぎのとおりです。

▼米価下落次期作支援事業 7250万円

〈解説〉米販売農家の営農継続と耕作放棄地拡大の防止を図るためのもので、町独自の給付金。対象者は令和3年産主食用米生

産農家（10㌔以下は対象外）。給付単価は10㌔当たり4000円。給付金支払いは令和4年5月から7月で実施。

6月定例会で議論した課題のいくつかを各常任委員会から報告します。

## 総務常任委員会報告

### 給食調理場のセンター化

大朝地域・千代田地域の学校給食調理場を統合し、新しく学校給食施設を建設する計画が進んでいます。将来的には、豊平地域の学校給食センターも統合を検討するという事です。

学校給食センターの進入路の設計委託料や、用地買収のための費用などが6月補正で予算化されています。供用開始は令和6年からの予定で、場所は給食提供数が最多の千代田中学校の敷地内が予定されています。

委員会では、学校給食調理員に関することや、建設予定地

### 町立中学校と少子化

各地域にある町立中学校において、入学者の減少が顕著となっています。学級数の減少や学校の存続にもかかわり、生徒にとつては部活動で大会に出られないなどの弊害もあります。今後の中学校の在り方を早急に考えていく必要があります。教育委員会と

ついでに質疑が多くありました。学校給食調理員に関する事では、現在の人数や、センター化後の人数、統合に際しての説明会の開催の有無などの質疑がありました。

建設予定地に関しては、借地である敷地の今後の扱い、中学校の行事などにおける駐車場の課題、他に存在する遊休地の候補など、多くの質疑が交わされました。

しては、町長を交えた総合教育会議で協議を始めるとのことでした。議会も次の展開に備えていきます。

## 産業建設常任委員会報告

### 鳥獣対策の専門員制度の導入

深刻な問題となっている農作物の鳥獣被害を解決していくために、技術と知識を持つ専門員1名が8月から配置されます。

行政職員では異動などで技術や知識といったノウハウが蓄積しにくいなどの課題があります。また、被害の防止には、それぞれの地域の支援も必要となります。地域と行政の間に立ち、地帯ぐるみの鳥獣被害防止の推進を行う専門員を配置し、継続的かつ戦略的な取組を構築して

### サテライトオフィス（お試しオフィス）の開始

閉校となった川迫小学校がサテライトオフィス（お試しオフィス）として生まれ変わりました。校長室や職員室をオフィスに改装し、そのほかに給湯室やトイレを改修しています。現在は、ソフトウェア開発事業者1社が6月から入居しています。お試しオフィスのため、使用期限は3か月（最長6か月）です。

いくというものです。この議題は、全員協議会（議員全員で協議をする場）でも取り扱われ、多くの質疑が交わされました。以前からの住民の要望の一つであり、議会からも提案が行われました。質疑として、専門員の数をさらに増やすことや取組内容、他市町との連携や今後の展望などがありました。

この事業は昨年から議論を行い、実現したものです。委員会では、事業者の利便性や定住につながる施策、改修していないほかの教室の今後の計画、今後利用する事業者、事業者と地域の関わり合いなど多くの質疑を重ねました。今後の活用においても議論していきます。

# 令和4年4月臨時会および6月定例会 議案審議の結果

正式な議案名を分かりやすい表現にしています。

審議日程	議案・提案	内容等	一致	不一致など	結果	
4月12日 (臨時会)	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度一般会計補正予算(第1号))	1700万円の増額。4月24日執行の広島県議会議員山県選挙区補欠選挙準備のため3月28日付で専決処分した	○		承認	
	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度一般会計補正予算(第11号))	令和3年及び令和2年発生災害復旧事業について、一部が執行できなかったため令和4年度に繰越した	○		承認	
	専決処分の承認を求めることについて(北広島町税条例等の一部を改正する条例)	国の税制改正に伴い、改正地方税法及び同法施行令等が公布され、関連する町の税条例を専決処分した	○		承認	
	工事請負契約の締結について(北広島町大朝グラウンド人工芝整備事業)	請負金額:1億7985万円 工期:令和4年11月30日まで	○		可決	
	令和4年度北広島町一般会計補正予算(第2号)	7250万円を増額。新型コロナウイルス感染症により経済的に影響を受けた米販売農家の次期作を支援する	○		可決	
6月8日 (定例会)	工事請負契約の締結について(北広島町立八重小学校校舎・体育館屋根外壁等改修工事)	請負金額:1億1935万円 工期:令和5年3月31日まで	○		可決	
6月20日 (定例会)	北広島町支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例	令和4年6月30日をもって、八幡出張所及び美和出張所を閉所する		不一致①	可決	
	北広島町議会議員及び北広島町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	公職選挙法施行令の一部改正に伴う条例改正	○		可決	
	財産の無償譲渡について(城山公園体験農園管理棟)	北広島町阿坂にある城山公園体験農園管理棟を有効に活用するため、無償で譲渡する	○		可決	
	令和4年度	一般会計補正予算(第3号)	3億6850万円の増額。国の臨時交付金を活用した、感染予防対策事業やカーボンニュートラル推進計画策定事業などの追加	○		可決
		国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	200万円の増額。会計年度任用職員の雇用のための予算追加	○		可決
	介護保険特別会計補正予算(第1号)	500万円の増額。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、感染予防対策事業の追加	○		可決	

審議日程	請願・陳情	提出者	一致	不一致	結果
6月20日 (定例会)	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	北広島町職員労働組合 執行委員長 中野 真弘	○		採択

審議日程	発議	提出者	一致	不一致	結果
6月20日 (定例会)	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	北広島町議会 議員 服部 泰征 他1名	○		可決
	すべてのケア労働者の処遇の大幅改善を求める意見書の提出について	北広島町議会 議員 美濃 孝二 他3名		不一致②	可決
	中山間地域対策特別委員会の設置について	北広島町議会議長 湊 俊文	○		可決

○ 賛成 ● 反対 — 欠席

## 不一致① 北広島町支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例

亀岡	伊藤立	敷本	中村	佐々木	山形	美濃	梅尾	伊藤淳	服部	宮本	審議結果
○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決

**反対討論** 美濃孝二 第一の理由は「住民の納得を得た」というが、美和地区はほとんど反対しており納得していない。第二は、窓口利用が少ないことを廃止の理由とするが、町は地域において課題が深刻になっていると受け止めていない。このような地域だからこそ職員を配置してでも住民と課題を解決すべき。

## 不一致② すべてのケア労働者の処遇の大幅改善を求める意見書の提出について

亀岡	伊藤立	敷本	中村	佐々木	山形	美濃	梅尾	伊藤淳	服部	宮本	審議結果
●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

# 新しく特別委員会を立ち上げました

このたび、議員発議によって「中山間地域対策特別委員会」を設置しました。定数は12人。全議員が参加して、深刻な人口減少を始め、わが町が抱える様々な課題に対して調査研究し、持続可能なまちづくりに全力で取り組みます。

## 意見書 (要約)

令和4年第2回定例会では、「地方財政の充実・強化を求める意見書」、「すべてのケア労働者の処遇の大幅改善を求める意見書」の2件を議決し、関係機関に提出しました。概要はつぎのとおりです。

### 地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、社会保障への対応・地域活性化対策・環境対策・デジタル化推進など、新しく多岐にわたる役割が求められつつある。

しかし、公共サービスを行う人材は不足しており、さらに新型コロナウイルスや大規模災害への対応に迫られており、増大する行政需要に対応できる地方財政の充実・強化が求められる。このため、政府に以下の事項の実現を求める。

1 増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、十分な地方一般財源総額の確保をはかること。  
2 急増する社会保障ニーズへの対応と人材確保のための社会保障予算の確保および地方財政措置

を講じること。

3 地方交付税の法定率を引き上げ、臨時財政対策債に頼らない地方財政を確立すること。

4 新型コロナウイルス対策として、保健所体制・機能の強化、ウイルス対応事業、地域経済の活性化に係る財源措置をはかること。

5 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている1兆円について、引き続き同規模の財源確保をはかること。

6 会計年度任用職員制度における当該職員の処遇改善に向けて、その財源確保をはかること。

7 諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対して、

### すべてのケア労働者の処遇の大幅改善を求める意見書

望する。

1 すべてのケア労働者を対象とした処遇改善事業を実施すること。

2 月額4万円以上・時給250円以上の引上げが実現するよう単価を引き上げること。

3 医療・看護・介護・保育などの

それを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこと。

8 デジタル・ガバメント化における自治体業務システムの標準化に向け財源や人材の確保をはかること。

9 森林環境譲与税の譲与基準は、林業需要の高い自治体への譲与額を増大させるよう見直すこと。

10 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特例の終了への対応、小規模自治体に配慮した段階補正の強化など対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

【提出先】 内閣総理大臣ほか

ケア労働者の職員配置基準を大幅に引き上げること。

4 自治体で働くケア労働者の賃上げが確実に実施できるよう地方交付税を増額すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

【提出先】 内閣総理大臣ほか

## タブレット導入にむけ 邑南町を視察



矢上交流センターでの行政視察の様子

## 視察報告

DXの推進は、時代の要請であり住民福祉の向上につながるものです。北広島町議会へのタブレット導入の検討にあたって、5月20日、議会(11人)と執行部(4人)で、タブレット導入の先進地の状況を把握するため、島根県邑南町議会を視察しました。事前に質問項目を届け、それに対して回答いただく形で協議を進めました。

導入のメリットとして「膨大な資料を持ち歩かなくても済む」、「過去の資料と容易に関連づけられる」、「ペーパーレスに貢献」等、具体的に知ることができました。また、議会側と執行部側双方で、導入に向けての課題を確認することもできました。

今回の視察を通して、議会へのタブレット導入を早急に進めたいという思いを強くしました。

# 11議員が町政をただす

## 一般質問の順番と質問項目

質問時間30分、質問回数は制限なし。

ページ	質問議員	質問項目	ページ	質問議員	質問項目
6	伊藤立真	①町内の文化関連資源と施設の活用促進を ②防災・災害対応への備えは進んでいるか	9	亀岡純一	行政サービスのあり方を考える
7	中村忍	①安心安全で公平で納得のいく通学対策を ②暮らしの中の図書館の充実を願って	10	佐々木正之	交通環境の整備と移動に係る利便性の確保について
7	山形しのぶ	町民の健康促進のためにできることを	10	美濃孝二	①国民健康保険税を引き上げる県単位化は見直しを ②南方の産業廃棄物最終処分場の実態と今後について問う
8	梅尾泰文	一級河川にある可動堰は誰の所有か	11	伊藤淳	①大朝グラウンドの人工芝生化と効果の最大化 ②昨年の大雨災害の反省と、今後の備え
8	服部泰征	①北広島町におけるDX戦略の進捗は ②公共料金の値上げはあるのか	11	敷本弘美	①認知症の人と家族の一体的支援について ②多胎児家庭への子育て支援について
9	宮本裕之	①深刻な人口減少、定住・少子化対策に本腰を ②自然環境を守る新たな条例制定に向けて			



伊藤立真議員

### 町内の文化関連資源と施設の活用促進を

**問** 町内の文化関連施設は芸北民俗芸能保存伝承館等13施設で間違いはないか。

**答** 生涯学習課長  
間違いはない。

**問** コロナ禍前の令和元年度と令和3年度の施設来場者数は。

**答** 生涯学習課長  
令和元年度は1万9561人、令和3年度は1万729人。

**問** 早急に建物等修繕が必要な個所には、どう対応するのか。

**答** 生涯学習課長  
修繕は利用状況などを確認し、

### 防災・災害対応への備えは進んでいるか

**問** 北広島町地域防災計画にある、防災訓練はできているか。

**答** 危機管理課長  
計画にある訓練には県や気象台など各機関との連携伝達もあり、避難誘導、救助等の訓練もしている。

**問** 訓練の検証から改善したものはあるか。

**答** 危機管理課長  
復旧復興につなげるデータの初動マニュアルの役割分担や招

きつなげるデータの初動マニュアルの役割分担や招

できるところからしたい。

**問** 農具・民具関連が数か所に点在している。集約はできないのか。

**答** 生涯学習課長  
整理・集約については量が多く、慎重に検討する必要がある。

**問** 多くの人が町を訪れている。多様な文化・歴史を紹介する場として、どう施設活用をしていくか。

**答** 生涯学習課長  
施設を体験学習活動の場とすることやボランティアガイドの担い手発掘につなげたい。

集体制なども随時検証して見直しをしている。

**問** 避難誘導に関する計画では、「多種多様な手段を通じ、住民への周知徹底を図る」とあるが、具体的にはどうするのか。

**答** 危機管理課長  
音声告知放送、きたひろ情報アプリ等が基本的な部分。広島県防災情報システムでは関連情報がテレビに表示される。避難指示が

発令されたら、携帯電話にその情報がエリアメールで伝わる。



中村 忍議員

### 安心安全で公平で 納得のいく通学対策を

**問** 昨年度の緊急一斉点検であ  
げられた33箇所危険箇所の改  
善はどう行われたか。

**答** 学校教育課長

具体的な改善に繋がったもの  
が12件、取組中のものが21件。道  
路に関してはガードパイプの設  
置、警察によるパトロールの強化  
などの対応を行った。

**問** 通学路の迂回というのは一  
時的に危険を回避する手段であ  
り、根本的な解決にならないと思  
うが、どう考えるか。

**答** 学校教育課長

道路改良を伴うものについて  
は優先順位を付けて行うため、早  
期の道路改良対応ができない。

### 暮らしの中の図書館の充実を願って

**問** 図書館の利用状況は極めて  
低いと思う。利用促進をどう進め  
ていくのか。

**答** 生涯学習課長

新型コロナウイルス感染症の  
影響で各施設の利用者が減って  
いる。利用促進については、読者  
の意見を大切にして毎月の選書  
を行ったり、ロビーやコーナーの  
展示を工夫したりしていく。

**問** 一部地域でスクールバスが  
運行されている経緯は。

**答** 学校教育課長

地域住民・保護者からの運行  
要望により現地確認の上、平成28  
年から運行している。

**問** 停留所までの距離の長さや  
安全の確保が必要な地域は他に  
もある。安全安心を一層確保する  
ためにもスクールバスの配置を  
求めるがどうか。

**答** 学校教育課長

全児童生徒へのドア・ツー・  
ドアでの送迎はできないが、バス  
通学の対象となる児童生徒につ  
いては、引き続き学校やバス会社  
と丁寧に連携し、対応していく。

**問** まちづくりセンターの図書  
スペース側のガラスはUV加工  
がされておらず、図書館の主役で  
ある本が大事にされていない。西  
日対策を早急に講じるべきであ  
るが、どうか。

**答** 生涯学習課長

どのような対策がよいのか施  
設管理のまちづくり推進課と検  
討していく。



山形しのぶ議員

### 町民の健康促進のために できることを

**問** 元気づくり推進事業の効果  
を検証しているか。また結果は。

**答** 保健課長

委託事業者から実績報告を受  
けている。また、行政も効果検証  
をしている。結果として、元気づ  
りコースではコロナ禍でも  
61会場全てで実施できている。  
「つまづくことが減った。人との  
つきあいが増えた。会話ができ  
るので気持ちが楽になった。」と7  
割以上の人が効果を感じている。

**問** 健康検査を国民健康保険加  
入者全体の何割が受けているか。  
また、旧町ごとの割合は。

**答** 保健課長

検査受診率は、令和2年度は38.  
6%、令和3年度は37.3%の見  
込み。旧町では芸北が55.2%、大  
朝が38.5%、千代田が37.7%、豊  
平が29.5%。男性よりも女性、若  
い人よりも高齢の人の方が受診  
率が高い。

**問** 健康検査の対象者年齢が分  
かりにくい部分もある。書類送付  
の際、分かりやすく確認してもら  
う工夫は。

**答** 保健課長

ガイドブックに詳しく書いて

いるが、誰にも分かりやすく伝わ  
ることが必要。次年度以降より分  
かりやすくなるように更新して  
いく。不明点があれば電話相談も  
可能。

**問** マンモグラフィの検査感度  
は80%と言われている。追加オ  
プションでエコー検査を入れるこ  
とはできないか。

**答** 保健課長

検査機関によってはエコー検  
査可能な場合があるが自己負担  
になる。今後追加オプションでエ  
コー検査が実施できるか考えて  
いく。

**問** 町民の生活を守り、健康寿命  
延伸に向けた取組を問う。

**答** 町長

基本的な生活習慣を見直し整  
え、健診受診、必要な治療を受  
ける、大切な人との関係を保つなど  
当たり前の生活を見直すことを  
意識してほしい。行政としても町  
民の健康づくりのために取り組  
んでいく。



梅尾泰文議員

# 一級河川にある可動堰は 誰の所有か

**問** 千代田地域を中心に、河川に18の可動堰がある。可動堰の施工は広島県が行ったのに、「その井堰の更新は地元の受益者である。」という回答が3月議会であったがその根拠は。

**答** 建設課長  
補償工事を行った広島県から工事終了後、引き継ぎ書により地元へ渡されたのが根拠。

**問** 地域では固定堰を希望したが県が制定する「河川改修マニュアル」にそって可動堰になった。

**答** 建設課長

災害防止や経済性、操作性などを考慮した結果である。

**問** 可動堰の施工は全て県か。

**答** 建設課長

各河川の改修工事に伴う工事なので費用は県が負担している。

**問** 可動堰は不動産か動産か。

**答** 建設課長

民法第86条第1項、土地及びその定着物は不動産とする。

**問** 不動産なら登記はあるのか。

**答** 建設課長

慣行水利権者以外は使用しないので、所有権、使用権の明記はない。

**問** 石井谷の巧家井堰は、ゴム井堰でパンクしたので、業者に相談したら、耐用年数20年から30年のところ既に40年、更新時期だと言われたそうだ。(幅20m×高さ1.4m)更新工事は、1億円超えとなる。受益面積4町8反、受益戸数11戸。維持管理は受益者で行ってきたが、施設更新の経費は支払える額ではない。

**答** 建設課長

厳しい額だと思うが、受益者負担は原則である。

**問** パンクしたゴム堰は、ほかに

もある。水中ポンプ2基程度の設置が検討できるか。

**答** 建設課長

井堰の規模などがあるので別途情報提供により検討する。

**問** 各団体で現状や課題が違うが、40年で更新する施設を地元へ引き渡したとする施策は尋常ではないが今後どうされるか。

**答** 町長

5月18日の行政区長会でゴム堰の質問があった。今後の営農形態を考えながら井堰の統合整理も視野に入れ関係者と協議する。



服部泰征議員

# 北広島町における DX戦略の進捗は

**問** DX戦略に掲げる取組で、住民サービスは向上しているか。

**答** 総務課長

デジタル化は、多様化する住民ニーズや高度化、専門化する業務に押し限られた人材で対応していくのに有効だが、実感できていくかは量りかねる。戦略に掲げている業務の効率化や経費削減、省力化により窓口対応の充実や住

# 公共料金の値上げはあるのか

**問** 原材料や燃料などが高騰している。公共施設の様子は。

**答** 財政政策課長

中国電力株と契約を締結している。令和2年度と3年度の電気代の比較は約900万円の増加。

**問** 上下水道施設はどうか。

**答** 上下水道課長

令和2年度末と3年度末の比較で、約683万円の増額。料金の即値上げは考えてないが、経営状況を見極め、将来的には必要に応じて改定を考える。

**問** 公共交通機関はどうか。

**答** まちづくり推進課長

令和4年1月と3月を比較すると、燃料代は約1割上昇。現時

民との対話の増大を図り、協働のまちづくり推進や行政サービスの向上へと繋げていきたい。

**問** 議会のデジタル化へ向けて。

**答** 総務課長

議会タブレット導入は、DX推進や脱炭素の面でも有用だが、業務改善や負担の軽減、費用対効果の見込みがある。議会や各課と連携し、取り組んでいきたい。

点で運賃の値上げは考えていない。収支が悪くなれば補助金で補填することになる。

**問** 学校給食はどうか。

**答** 学校教育課長

献立の見直しや食材のまとめ買い等の対応で給食費の値上げはしていない。更に上昇した場合、地方創生臨時交付金で対応する。

**問** 再生可能エネルギーを進め、先行地域として交付金の獲得を。

**答** 町民課長

今年度より、ゼロカーボンシテイの実現に向けた施策を検討するため庁舎内チームを立ち上げている。脱炭素先行地域についても、その中で検討していきたい。





宮本裕之議員

## 深刻な人口減 定住・少子化対策に本腰を

**問** 本町は合併後、3935人減少している。人口減少は、労働力の衰退や経済を縮小させ集落機能をも維持できなくなる。本町の人口減少、少子化の影響及び限界集落、消滅集落の把握は。

**答** まちづくり推進課長

人口減少は、集落機能の低下が危惧され、担い手不足による農地維持、道路除雪等様々な困難が予想される。65歳以上の人数が50%を超える限界集落も120集落あり、今後消滅する集落もあり得ると考える。

**問** 住宅新築補助金制度の成果と今年度で廃止する根拠は。

**問** 本町の西中国山地国定公園では八幡高原内に八幡湿原、聖湖があり、雲月山を含め絶滅危惧種の動植物の宝庫である。星空の美しい八幡高原の上空を星空保護区に申請する考えは。

**答** 生涯学習課長

星空保護区は、日本においては西表石垣国立公園、東京都神津島

**答** まちづくり推進課長

この制度はこれまで556件1272人に利用され大きな成果を得られたが、近年はUターン者の利用の伸び悩みと国からの補助制度の充実等も鑑み、空き家バンク購入者への住宅改修費補助へと転換した。今年度の空き家バンク改修実績を念頭に、住宅新築補助金制度の復活も考慮する。

**問** 婚活事業にさらなる支援を。福祉課長

婚活イベントは、コロナ禍の影響で2年間していない。今年度は、婚活事業に対してできる限り支援していく。

## 自然環境を守る新たな条例制定に向けて

村、岡山県美星町、この3か所が認定されている。本町には環境保護、生態系保護の条例もあり、星空保護区の申請には、適切な手法を選択することが必要である。

**問** 北広島町「町の鳥」の制定は。総務課長

合併20周年記念事業も含め、「町の鳥」の制定も検討していく。



亀岡純一議員

## 行政サービスのあり方を考える

**問** 自治体ごとの事情によって、行政サービスの内容には差があり、わが町に即した特別メニューがあっても良いと思う。北広島町としての基本的な行政サービスのあり方についての方針は。

**答** 総務課長

「町民ファーストの視点、現場主義、職員が主体的に関わる」を重点に置き、行政と町民が一体となり、すべての町民が豊かに暮らすことを目指している。身の丈に合った財政運営を図っていくことも重要と考えている。

**問** 役場本庁と役場支所は、それぞれどのような役割を持たせているか。その機能は、十分に果たせているか。

**答** 総務課長

本庁には行政サービス全体を統括する機能があり、支所は窓口業務や地域課題を把握し解決につなげる役割を持っている。支所は人数も限られたなかで広範な業務を行っているが、本庁と密接な関係を築いて良好な行政サービスが運営できるように努力している。

**問** 住民からの困りごとや意見、

相談などに対して、行政として心がけていることは何か。それに対する住民の満足度は得られているか。

**答** 総務課長

まずは担当部署で、必要に応じて複数の部署や上位機関、他市町などと連携を図り、親切丁寧にできるだけ迅速に対応するように努めている。住民の理解と協力を仰ぎながら少しでも満足いただけるよう取り組んでいる。

**問** 地域おこし協力隊やJICA海外協力隊の帰国隊員などをこれまで以上に柔軟に活用する手段は考えられないか。

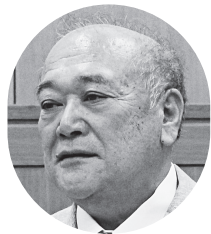
**答** まちづくり推進課長

一つの手段として地域対策に有効と考えるが、ある程度テーマをしぼって総合的に考えたい。

**問** 行政サービスに対する町長の考え方は。

**答** 町長

これまでのやり方を継続していくのは困難だと思っている。デジタル化や科学技術の進歩を取り入れながら、将来に向けて、あるべき姿をいろいろと議論していかざるを得ない問題である。



佐々木正之議員

### 交通環境整備と移動の 利便性について

**問** 交通環境整備と移動に係わる利便性の確保施策の方向性として町内をつなぐ広域道路の整備はどのようなようになっていくか。

**答** 建設課長

町内の整備促進計画として2021年度は豊平433号鳥帽子地区、安芸高田市への千代田八千代線の畑地区、大朝芸北鳴滝186号線の細見地区の歩道整備を計画としている。

**問** 広島市北部の拠点である安佐北区等へのアクセスの取組は。

**答** まちづくり推進課長

芸北豊平線は総企バスが直接乗り入れ、千代田大朝地区は中国JRバスで可部上市にて循環線に乗り継ぐ。

**問** 安全で快適な道路環境、維持管理はどのように考えているか。

**答** 建設課長

道路維持・管理、歩道の整備、安全標識の見直し等は、日々各地域で行っている。横断歩道や信号機の設置は、公安委員会と協議をしている。

**問** 生活交通の維持と確保についての関係機関、事業者とのバス路線等の対策は。

**答** まちづくり推進課長

毎年開催される北広島町地域交通会議で課題や事業の方向性を議論している。

**問** 地域公共交通Maas(以下マースと表記)の推進事業があるがその施策とは。

**答** まちづくり推進課長

広島県では、公共交通対策事業として広島型マース(中山間型)のモデル事業がある。

中山間地のニーズに応じた方向性で運行事業、公共交通の利用者、商業施設、病院等へのアクセスなどの利便性向上を優先的に行うもの。

**問** 町長に公共交通の所見を伺う。

**答** 町長

マースは広島県のモデル事業で、これまでも検討しているが現在はデマンドタクシーで利用している。

今後も県と相談しながら、北広島町にあった事業にできるように検討していきたい。



美濃孝二議員

### 国保税一人2万円上る 県単位化見直しを

**問** 国民健康保険の県単位化によりH29年とR6年を比較すると、20代単身者で2万円、現役世帯で5万円、固定資産税がない高齢者夫婦で1万円増え、年間収入の1割以上にもなる。

「同じ所得・世帯構成であれば県内どこでも同じ保険税が公平」というが、〇都市部と医療環境が違う、〇北広島町で医療費を下げても国保税は下がらない、〇一人当たり2万円も上る、それでも県から請求される納付金に足りなければどうするか。

**答** 町民課長

町の基金から繰り入れるか、県から貸し付けを受ける。

**問** 県からの借金を返すため、さ

らに国保税を上げるしかない。払える国保税にするために提案する。

**答** 町民課長

〇各市町の実状を反映させる、〇子ども均等割の減免、〇赤字補填のための一般会計からの繰り入れ、〇協会けんぽ並み(国保の半分)にするため国・県の1兆円の繰入れの実現を。

**問** 町長

〇統一保険料率で同意しており特に県に求めない。〇町独自の要望は難しい。〇県の方針で法定外の一般会計からの繰り入れは解消することになっている。

**答** 町長

国保制度自体、矛盾を抱えているので国の補填を要望する。

### 南方産廃処分場のボーリング調査を

**問** 南方の産業廃棄物処分場の現場で埋立を請け負っていた業者から、マニユフエスト偽造、埋立許可品目以外の埋立、土堰堤内への廃棄物大量投棄などの告発が、町と議員、住民に大量送付された。町の対応は。

**答** 町民課長

県は立入検査・水質検査、書面

や目視等により確認しており告発状のような違反は確認していないとのこと。

**問** 告発業者が求めているボーリング調査を行うべきでは。

**答** 町長

違反となるようなことは起きていないとのことなので事実に基づいてやっていけばいい。



伊藤 淳議員

### 大朝グラウンドの人工芝生化と効果

**問** 大朝グラウンドの人工芝生化は、日本サッカー協会の公認グラウンド2面が整備できることになる。これにより、県内外から多くの利用者が訪れることが期待され、北広島町全体の活性化に大きく貢献する施設だ。町が3年前から取り組んで来たスポーツ

機会の一つと言えるとと思う。大会などを滞りなく開催するための施設として、選手の更衣室・シャワー施設・休憩施設、他に管理棟や駐車場などが必要であると思

うが、それらの整備と地域との協議について聞いていく。

**答** まちづくり推進課長 今後も新庄学園を考えている。

**問** 来場者の車の台数と駐車場候補は。

**答** まちづくり推進課長 想定は150台。候補は、小倉の里シヨウブ園と大朝インターチェンジを合わせて200台ほど。

**問** 大朝インターチェンジは、そ

んなに空きがないと考える。想定として、他にも駐車場が必要と考える。

また、グラウンドの管理棟や更衣室などの施設はどこを考えているか。

**答** まちづくり推進課長 閉鎖している新庄プールや新庄保育所が候補となる。

**問** それらの解体費用の試算は。

**答** まちづくり推進課長 プールは約2000万円。新庄保育所は、川戸保育所を例にする

と、約5000万円弱。

**問** 駐車場はそこまで余裕があるわけではない。大会を開催するのに必要な施設の整備、そのお金

など多くの課題がある。地域も多くの人が来町するから、いろいろと協力していきたいと考えている。それぞれが出来ることを出し

合い、協議する場が必要では。

**答** まちづくり推進課長 前向きに地元の方との協議をしていきたい。



敷本弘美議員

### 認知症の人と家族の一体的支援について

**問** 町内7か所で認知症カフェが開設されている。目的と事業内容を問う。

**答** 保健課長 認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように、また認知症の人の家族の介護負担を軽減するため、認知症

状態の悪化防止、相互交流、情報交換などを目的としている。事業内容は、本人同士の仲間づくりや、

介護する家族の負担軽減、地域住民への啓発などを目的とし、誰もが自由に参加し、楽しく過ごせる内容としている。

**問** 認知症カフェ開催時に専門員は参加されているか。また、家族からの相談に結びついているか。

**答** 保健課長

**問** 双子や三つ子など、多胎児を育てる家庭へどのような支援が必要か町長の所見を伺う。

**答** 町長 子育て家庭への相談、支援を行うネウボラ事業の充実を図って

### 多胎児家庭への子育て支援について

町の認知症サポーターや県のキャラバンメイト、地域支援推進員、包括支援センター職員が参加し、相談に応じる体制は整っている。

**問** 認知症ケアパスをカフェに貼り出してはどうか。

**答** 保健課長 できるだけ大きくした形で貼り出しを考えていきたい。

**問** 開設時に3万円の補助が出ているが、運営費は出ているか。

**答** 保健課長 運営費については考えていない。

**問** 認知症の人と家族の一体化支援についての考えを問う。

**答** 保健課長 認知症地域支援推進員と事業実施について検討していく。

いる。多胎児の場合、特に悩みも多いかもしれない。ネウボラ事業の中でしっかり対応していきたいと考えている。安心して子育てができる町づくりを実現していきたい。

# キラリ人

## 自然豊かな地域の魅力を 発信し続けたい

北広島町吉木 酒迎 亮さん（39歳）



り、栄養価の高い全粒粉、遺伝子組み換えではない大豆を使った豆乳や、菜種油などを使用。保存料は使っておらず「おいしいものを安心して食べてもらいたいという気持ちで原点にある」と早朝から夫婦で工房に立つ。

「あたたくく迎え入れて下さった地域の方を大切に、自分たちらしく、豊平の自然や良い所を発信し続けていきたい」と亮さんは思いを語る。

2年前、田畑が広がる山あいの豊平地域吉木地区に、安芸高田市から家族4人で移住してきた酒迎さん一家。「自然が身近な環境で暮らしたい。そう願う、この地域に決めたんです」と話す。

山の中の小さなドーナツ屋『さんわ堂』は、フレンドリーな店主の亮さんと明るい奥様、そして愛犬が迎えてくれる。

古民家を購入し、住居と工房兼販売所に改装。11種類のドーナツは、チョコレートやココナッツなど原料にこだわ



## 表紙の説明



芸北小学校3・4年生は、総合的な学習の時間に「火おこし」の活動を行いました。

「どうすればマツチで擦った火を薪に点けて燃やし続けることができるか」まず自分自身で考えてみる。解らない時は友達に聞く。試行錯誤を繰り返すことで、目標に向かって頑張る力や課題解決する力を身につけていきます。

がんばっておこした火で茹でた枝豆。「おいしかった」とその味は格別だったようです。

## あとがき

今年、異常に早い梅雨明けに猛暑。コロナの問題やロシアのウクライナ侵攻の問題が世界を大きく変え、私たちはこれまで経験したことのない困難な時代を迎えています。

本町における様々な課題を解決し、まちの未来を創っていくために、議会は新しく特別委員会を設置しました。皆様のご意見をお寄せください。

結びに、先月お亡くなりになった安倍晋三元内閣総理大臣のご逝去に際し、哀悼の意を表します。

皆様どうか、ご自愛專一に。

## 『議会報告会について』

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見ながら、今秋、議会報告会を開催する予定です。

日程等詳細は後日、音声告知放送等でお知らせします。

### 【発行責任者】

議長 長 湊 俊文

【議会広報常任委員会】

委員長 佐々木正之

副委員長 伊藤 淳

委員 亀岡 純一

委員 伊藤 立真

委員 敷本 弘美

委員 中村 忍

〈ご意見等の連絡先〉  
議会事務局

☎050-5812-1862